



本調査について

社会の高齢化が進行する一方で、建設産業における若年層の入職者は減少の一途をたどっており、次世代に向けた担い手の確保・育成は、建設産業の最大の課題となっています。国土交通省でも、今後懸念される中長期的な担い手不足に対し、「建設産業活性化会議」を設置し、平成26年6月の中間取りまとめにおいては、官民一体となった総合的な人材確保・育成策を講じることの重要性を指摘した上で、適切な賃金水準の確保や、社会保険等未加入対策の更なる強化、教育訓練の充実強化として地域のネットワークで人材確保・育成を支える仕組みの構築などが提言として盛り込まれました。

「建設業における人材確保・育成に関する調査検討業務」はその一環として、建設業における人材確保・育成に関する優良事例集、つまりケーススタディを作成することを目的とし活動を行ったものです。

事例選定にあたっては、建設業者団体等に対してアンケートを実施し、各地域における人材確保・育成に関する事例を収集し、アンケート結果等の整理・分析により、優良な人材確保・育成に関する成功事例を抽出しました。併せて、抽出された優良事例について関係者にヒアリングを行い、人材確保・育成に向けた具体的なプロセス等の詳細に関して情報を収集しています。

各事例は、取組種別、背景と動機、概要と成果、実施体制等の切り口から内容を整理し、各事例のスキーム、関係者、支援ツール等についても具体的に言及することで、取組をわかりやすく紹介しています。